

〔科目名〕 卒業研究				〔単位数〕 4単位		〔科目区分〕 卒業研究科目	
〔担当者〕 橋本 悟						〔授業の方法〕 演習	
〔演習テーマ〕 1) 簡単な定量分析・定性分析の手法を学習する。 2) 各自でテーマを決めて、そのテーマについて定量的・定性的分析を行う。 3) 分析結果をもとに卒業論文を作成する。							
〔演習内容〕 前半(春学期)は、分析手法の学習とその知識を用いて簡単な分析を行う。 6 月ごろまでは、最小二乗法などの基本的な定量分析の手法を身につける。その後、各自で研究テーマを決めて、その研究テーマについてデータ収集を行い、そのデータを用いて定量分析を行う。適切なデータが入手できない場合は定性的な分析も検討する。分析結果を考察し、それをプレゼンテーションすることでゼミのメンバーから意見をもらい、それを反映して研究のレベルアップを目指す。 後半(秋学期)は、前半の分析結果を十分に考察して卒業論文を完成させる。前半の研究内容をさらにレベルアップさせて、論理的な流れで文章の作成をする。10 月頃までに分析を終了させ、11 月末を目処に十分な考察を行う。12 月以降は論文執筆に専念する。基本的には、プレゼンテーションを繰り返しながら卒業論文を完成させることになる。また、随時、個別に論文のチェック・指導も行う。							
〔科目の到達目標〕 1) 簡単な定量分析・定性分析の手法を身につける。 2) 定量的・定性的分析ができるようになる。 3) 卒業論文を完成させる。							
〔ディプロマ・ポリシー (DP) との関係〕							
学部				学科			
DP1 ○	DP2	DP3	DP4 ○	DP1	DP2 ○	DP3 ○	
〔前提条件〕 Word や Excel の基本的操作は必要である。また、ミクロ経済学、マクロ経済学、産業組織論の知識があることが望ましい。							
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 卒業論文の提出に加えて、分析能力・プレゼン能力なども総合的に評価する。							
〔教科書等〕 使用しない							
〔実務経歴〕 なし							
授 業 ス ケ ジ ュ ー ル							
時期	テーマと内容						
第 1 回	ガイダンス、簡単な経済学の復習						
第 2 回 から 第 5 回	政府や地方自治体の HP などから適切な資料や統計データを入手する。 エクセルを用いて、データを加工して、必要な分析を行う。						

第 6 回 から 第 15 回	個別に分析して、その結果をプレゼンする。 プレゼンに対して議論をする。 議論で得た知見をもとに、内容を改善してプレゼンをする。
第 16 回	ガイダンス 夏休みの課題の確認など
第 17 回 から 第 25 回	個別に分析をして、その結果をプレゼンをする。 プレゼンに対して議論する。 議論で得た知見をもとに、内容を改善してプレゼンをする。
第 26 回	卒業論文の書き方について確認する。
第 27 回 から 第 30 回	個別に卒業論文を作成する。場合によってはプレゼンをして周りの意見を聞く。